

マンダム、「国連グローバル・コンパクト」に参加 ～グループ全体でのCSR活動、 事業活動を通じた「お役立ち」の推進を強化～

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、「社会の持続可能な発展」を実現するための、世界的な取り組みである「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」にグループ全体での参加を表明し、2015年9月24日に参加企業として登録されました。

「国連グローバル・コンパクト」が提唱する「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗防止」の4分野・10原則を、マンダムグループ全体で支持し、「社会の持続可能な発展」の実現に向けて、CSR活動、事業活動を通じた「お役立ち」の推進をこれまで以上に強化します。

「国連グローバル・コンパクト」への参加の背景

1927年に設立されたマンダムは、その後、海外事業として1958年にフィリピンに進出したのをはじめとして、1969年にはインドネシアに現地法人を設立するなど、50年以上にわたり、アジアを中心にグローバルな事業を展開しています。マンダムグループでは、「美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする」という基本理念を、グループ全体で共有し、日本を含むアジアの生活者にお役立ちするべく、事業活動を行ってきました。

よって、「社会の持続可能な発展」の実現に向けた活動は、マンダムグループにとっても、継続的に取り組む重要なテーマと認識しています。また、「国連グローバル・コンパクト」において、2015年9月末には、国際社会全体の取り組みとして、2030年に向けた新たな開発目標が採択されるなど、2015年は節目の年となっていることから、今回の「国連グローバル・コンパクト」への参加を機に、マンダムグループでは、更にCSR活動、事業活動を通じた「お役立ち」の推進を強化します。

※参考

【国連グローバル・コンパクト(UNGC)とは】

各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な発展を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。1999年の世界経済フォーラム(ダボス会議)にて、コフィー・アナン国連事務総長(当時)が提唱し、2000年7月26日に、ニューヨークの国連本部で正式に発足しました。現在(2015年7月時点)では世界約160カ国で13,000を超える団体(そのうち企業が約8,300)が署名し、「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」の4分野・10原則を軸に活動を展開しています。

国連グローバル・コンパクト本部(英語): <https://www.unglobalcompact.org>

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン: <http://www.ungcjin.org>



国連グローバル・コンパクトの4分野・10原則

- | | |
|------|--|
| 人権 | 原則 1: 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである |
| | 原則 2: 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである |
| 労働 | 原則 3: 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである |
| | 原則 4: 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである |
| | 原則 5: 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである |
| | 原則 6: 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである |
| 環境 | 原則 7: 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである |
| | 原則 8: 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである |
| | 原則 9: 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである |
| 腐敗防止 | 原則 10: 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである |

以上